

（3）納付書情報等出力先の改善<3>



2022年10月13日
輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

区分	概要	第10回、第14回WGより再提示
1. 検討項目	納付書情報等出力先の改善	
2. 変更要望	輸入者側での各通関業者からの納付書収集の手間やリスクを回避したいため、海上申告分同様に、委任した代表通関業者にて、航空申告分の納付書もまとめて出力できるようにして欲しい。	
3. 次期仕様	以下の帳票について、航空申告分の出力先として、代表通関業者を設定可能とする。 ①納付番号通知情報（※即時納付（特例申告の即納は除く）以外のもの） ②納付番号通知情報（一括） ③一括納付書情報 ④一括納付書明細書情報 ⑤一括納付用明細データ ⑥一括納付用明細総括データ	

本件の対応に伴い、情報の出力先や出力情報の把握が煩雑となることが想定されるため、以下の追加改善を行う。

追加改善①：新規管理資料の追加

追加改善②：管理資料のファイル名体系の変更

追加改善①：新規管理資料の追加

次期では、航空申告分についても、代表通関業者に一括納付書情報等を出力可能とすることから、どの申告分がどこに出力されたのか把握が困難になると想定されます。一括納付書情報等の出力先について簡易に把握できるようにするため、**一括納付書情報等の出力先を輸入申告番号毎に通知する新規管理資料**を追加します。

管理資料名：一括納付書用出力先情報
出力先：通関業

周期：月次（毎月8日、21日）
出力単位：申告者（通関業）

出力イメージ

	A	B	C	D	E	F
1	XXXXXXXX	X	99999900			
2	一括納付書用出力先情報					
3	NNNNNNNNN1NN	A				
4	NN	X				
5	番号	輸入申告番号	出力先種別	本税調定日	輸入者コード	輸入者名
6	ZZZ9 XXXXXXXX1XX	XXXXXXXXXX1XX	NNNNNN	99999999	XXXXXXXXXX1XXXXXXXX	XXXXXXXXXX1XXXXXXXXXX2XXXXXXXXXX3XXXXXXXXXX4XXXXXXXXXX5XXXXXXXXXX6XXXXXXXXXX7
7	ZZZ9 XXXXXXXX1XX	XXXXXXXXXX1XX	NNNNNN	99999999	XXXXXXXXXX1XXXXXXXX	XXXXXXXXXX1XXXXXXXXXX2XXXXXXXXXX3XXXXXXXXXX4XXXXXXXXXX5XXXXXXXXXX6XXXXXXXXXX7
8	ZZZ9 XXXXXXXX1XX	XXXXXXXXXX1XX	NNNNNN	99999999	XXXXXXXXXX1XXXXXXXX	XXXXXXXXXX1XXXXXXXXXX2XXXXXXXXXX3XXXXXXXXXX4XXXXXXXXXX5XXXXXXXXXX6XXXXXXXXXX7
9	※明細数分繰り返す		B			
10						
11	ZZZ9 XXXXXXXX1XX	XXXXXXXXXX1XX	NNNNNN	99999999	XXXXXXXXXX1XXXXXXXX	XXXXXXXXXX1XXXXXXXXXX2XXXXXXXXXX3XXXXXXXXXX4XXXXXXXXXX5XXXXXXXXXX6XXXXXXXXXX7
12	ZZZ9 XXXXXXXX1XX	XXXXXXXXXX1XX	NNNNNN	99999999	XXXXXXXXXX1XXXXXXXX	XXXXXXXXXX1XXXXXXXXXX2XXXXXXXXXX3XXXXXXXXXX4XXXXXXXXXX5XXXXXXXXXX6XXXXXXXXXX7
13	ZZZ9 XXXXXXXX1XX	XXXXXXXXXX1XX	NNNNNN	99999999	XXXXXXXXXX1XXXXXXXX	XXXXXXXXXX1XXXXXXXXXX2XXXXXXXXXX3XXXXXXXXXX4XXXXXXXXXX5XXXXXXXXXX6XXXXXXXXXX7
14	※帳票種別毎に海上分、航空分を出力					
15						

A：帳票種別*を出力 B：出力先の種別（「申告者」、「代表通関業者」、「輸出入者」）を出力

（*）帳票種別は、包括納期限延長（直納）、特例申告即納（直納）、特例申告即納（口座）、特例申告納期限延長（直納）、M P N包括納期限延長、M P N特例申告即納、M P N特例申告納期限延長、**包括納期限延長（口座）、特例申告納期限延長（口座）**（赤字部分については、「納期限延長に係るリアルタイム口座対応」案件にて追加予定の帳票種別です。）

4.追加改善②：管理資料のファイル名体系の変更

追加改善②：管理資料のファイル名体系の変更

パッケージソフトにおける管理資料の出力順は、**第1ソート：管理資料作成年月日**、**第2ソート：ファイル名**により、決定します。管理資料のファイル名体系は、「業務仕様書番号 + 管理資料情報名（日本語） + 対象年月日 + _ + 宛先利用者コード + _ + subject + _ + コピー元利用者コード等 + _ + 作成年月日時分秒 + ファイル拡張子」となっています。

subject部分は管理資料毎に設定されておりますが（詳細は次ページ掲載）、例えば、現行の一括納付書情報（航空）の場合、「**税関官署 + _ + 輸出入者コード + _ + 帳票種別 + _ + 一括納付書番号 + _ + 受入科目コード**」となっているため、同一輸入者分であっても官署別でバラバラに一括納付書情報が出力される可能性があります。次期では、同一輸入者は順に出力されるよう、ファイル名の付与基準の見直しを行います。

通関業者が以下を申告（全て航空申告）

- ・官署1Aに**輸入者AAAA**の申告
- ・官署2Aに**輸入者AAAA**の申告
- ・官署1Aに**輸入者BBBB**の申告

一括納付書情報
(航空) を取得

現行

税関官署→**輸出入者コード**の順でファイル名が設定されるため、

- ・官署1Aに**輸入者AAAA**の申告をした分
- ・官署1Aに**輸入者BBBB**の申告をした分
- ・官署2Aに**輸入者AAAA**の申告をした分

の順で出力されます。

次期

輸出入者コード→**税関官署**の順でファイル名が設定されるため、

- ・官署1Aに**輸入者AAAA**の申告をした分
- ・官署2Aに**輸入者AAAA**の申告をした分
- ・官署1Aに**輸入者BBBB**の申告をした分

の順で出力されます。

4.追加改善②：管理資料のファイル名体系の変更

現行の管理資料のファイル名のsubject部分は以下の通りです。

no	管理資料	出力情報コード	海上	航空	データ無し	subject部の体系
1	一括納付書情報	SBF7100	○			帳票種別* ¹ +_+一括納付書番号+_+受入科目コード
2		ABF7100		○		税関官署+_+輸出入者コード+_+帳票種別* ¹ +_+一括納付書番号+_+受入科目コード
3		SBF7100			○	帳票種別* ¹
4	納付番号通知情報(一括)	SBF7201	○			帳票種別* ¹ +_+納付番号+_+受入科目コード
5		ABF7201		○		税関官署+_+輸出入者コード+_+帳票種別* ¹ +_+納付番号+_+受入科目コード
6		SBF7201			○	帳票種別* ¹
7	一括納付用明細書情報	SBF7301	○			帳票種別* ² +_+一括納付書番号* ³ +_+受入科目コード
8		ABF7301		○		税関官署+_+輸出入者コード+_+帳票種別* ² +_+一括納付書番号* ³ +_+受入科目コード
9		SBF7301			○	帳票種別* ²
10	一括納付用明細データ	SBF7400	○			帳票種別* ² +_+一括納付書番号* ³ +_+受入科目コード
11		ABF7400		○		帳票種別* ² +_+一括納付書番号* ³ +_+受入科目コード
12		SBF7400			○	帳票種別* ²
13	一括納付用明細総括データ	CBF7500	○	○	○	帳票種別* ²

(* 1) 帳票種別は以下の通りです。

P：包括納期限延長、D：特例申告即納、G：特例申告納期限延長

(* 2) 帳票種別は以下の通りです。

1：包括納期限延長、2：特例申告即納（直納）、3：特例申告即納（口座）、4：特例申告納期限延長、5：MPN包括納期限延長、6：MPN特例申告即納、7：MPN特例申告納期限延長

(* 3) 納付方法がMPNの場合は、納付番号となります。

4.追加改善②：管理資料のファイル名体系の変更

次期では、管理資料のファイル名のsubject部分を以下の通り変更いたします。

no	管理資料	出力情報コード	海上	航空	データ 無し	subject部の体系
1	一括納付書情報	SBF7100	○			輸出入者コード+_+税関官署+_+帳票種別* ¹ +_+一括納付書番号+_+受入科目コード
2		ABF7100		○		輸出入者コード+_+税関官署+_+帳票種別* ¹ +_+一括納付書番号+_+受入科目コード
3		SBF7100			○	帳票種別* ¹
4	納付番号通知情報(一括)	SBF7201	○			輸出入者コード+_+税関官署+_+帳票種別* ¹ +_+納付番号+_+受入科目コード
5		ABF7201		○		輸出入者コード+_+税関官署+_+帳票種別* ¹ +_+納付番号+_+受入科目コード
6		SBF7201			○	帳票種別* ¹
7	一括納付用明細書情報	SBF7301	○			輸出入者コード+_+税関官署+_+帳票種別* ² +_+一括納付書番号* ³ +_+受入科目コード
8		ABF7301		○		輸出入者コード+_+税関官署+_+帳票種別* ² +_+一括納付書番号* ³ +_+受入科目コード
9		SBF7301			○	帳票種別* ²
10	一括納付用明細データ	SBF7400	○			帳票種別* ² +_+一括納付書番号* ³ +_+受入科目コード
11		ABF7400		○		帳票種別* ² +_+一括納付書番号* ³ +_+受入科目コード
12		SBF7400			○	帳票種別* ²
13	一括納付用明細総括データ	CBF7500	○	○	○	帳票種別* ²

(* 1) 帳票種別は以下の通りです。

P：包括納期限延長、D：特例申告即納、G：特例申告納期限延長

(* 2) 帳票種別は以下の通りです。赤字部分については、「納期限延長に係るリアルタイム口座対応」案件にて追加予定の帳票種別です。

1：包括納期限延長（直納）、2：特例申告即納（直納）、3：特例申告即納（口座）、4：特例申告納期限延長（直納）、5：MPN包括納期限延長、6：MPN特例申告即納、7：MPN特例申告納期限延長、8：包括納期限延長（口座）、9：特例申告納期限延長（口座）

(* 3) 納付方法がMPNの場合は、納付番号となります。

以下の帳票について、航空申告分の出力先として、代表通関業者を設定可能とします。
 また、代表通関業者への出力可否を、「海上」と「航空」で分けることを可能とします。

対象帳票：①納付番号通知情報（※即時納付（特例申告の即納は除く）以外のもの）②納付番号通知情報（一括）
 ③一括納付書情報 ④一括納付書明細書情報 ⑤一括納付用明細データ ⑥一括納付用明細総括データ

		パターン1	パターン2	パターン3	パターン4	パターン5	パターン6	パターン7	パターン8
条件1	担保提供者	通関業者 (利用者コード)	輸出入者 (輸出入者コード)						
条件2	納付書関連 出力表示	↓	申告者へ出力	輸出入者へ出力	代表通関業者へ出力 (海上のみ)		代表通関業者へ出力 (航空のみ)		代表通関業者へ出力 (海上・航空)
条件3	海上・航空	↓	↓	↓	海上	航空	海上	航空	↓
条件4	代表通関業者 コード	↓	↓	↓	代表通関業者 利用者コード	↓	↓	代表通関業者 利用者コード	代表通関業者 利用者コード
出力先		申告者	申告者	輸出入者	代表通関業者	申告者	申告者	代表通関業者	代表通関業者

海上のみ代表通関業者へ
出力されます。

航空のみ代表通関業者へ
出力されます。

海上、航空ともに同一の
代表通関業者へ出力されます。